

事業番号	事務事業名	津山・鏡野間バス連携事業費	所管課名	まちづくり課	令和 2 年度課長名	小林 英将
00269	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	地域対策係	担当者・シート作成者	日笠 雄策
	施策名	49 公共的交通機関の充実	根拠法令等	道路運送法 地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱(地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	津山ごんごバスの西循環線を延伸して鏡野町に乗り入れる事業 延伸は町南部のプラント5などで、他の系統路線と接続し、津山市をはじめ町内各地地域への移動を図っている。 事務局は津山市で、鏡野町は負担金の支払い業務を行なう。	中鉄北部バスのダイヤ改正などの影響もあり、平成29年度頃から定住自立圏内の地域間移動の改善を図る目的で検討された。 平成30年11月から翌年9月まで実証運行を行ない、平成31年(令和元年)10月から本格運行。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	→ ア 町民人口	人	見込 実績	12,435 12,926	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970	11,800
イ	→ イ		見込 実績					
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 便利に移動できるようにする	→ ア バスの便数	便	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 6 300.0%	6 6 100.0%	6	6
イ 多くの人に利用してもらう	→ イ 町内利用人数(プラント5経由路線乗客数) (H30は11月～3月までの5か月間、R1は4月～9月までの6か月間の実証期間中の実績)	人	目標 実績 達成率	4,000 4,842 121.1%	5,000 6,377 127.5%	12,000 12,770 106.4%	12,000	12,000
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 負担金の支払い	→ ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ 津山市との協議	→ イ 協議回数	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3	3
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 中事業					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		07	03	津山・鏡野間バス連携事業費			
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	2,500	2,500	2,181	1,999	1,999	-319	一般財源	1,237	1,177	2,112	1,999	1,999	935	
合計	2,500	2,500	2,181	1,999	1,999	-319	合計(A)	1,237	1,177	2,112	1,999	1,999	935	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	40	40	40	40	40		
							人件費計(千円)(B)	135	140	134	134	134	-6	
最終予算額		2,181 千円		予算執行率		96.8%		トータルコスト(A+B)	1,372	1,317	2,246	2,133	2,133	929
主な支出事業内容(予算)	負担金補助及び交付金(負担金)						2,181 千円							
	主な支出事業内容(決算)						負担金補助及び交付金(負担金)						2,112 千円	

事業番号	00269	事務事業名	津山・鏡野間バス連携事業費	所管課名	まちづくり課
------	-------	-------	---------------	------	--------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢者の免許返納や学生の通学手段問題などから、住民の移動手段確保が重要かつ切実な問題になっており、津山・鏡野間のバスについて利用しやすいものとし、定住自立圏の形成に資する取り組みが必要となっている。順調に利用者は伸びている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 津山市と協議しながら路線の決定や、町内の他の路線との接続等の調整を行なった。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 今のところ特に意見・要望等はない。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	総合計画における、便利に町内外へ移動できるようにするという目的に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	人口の減少等により、バス事業者単独では事業としての継続が難しいため、町が関与することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	公共交通は全ての住民が対象となるため、対象・意図についても適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	令和元年10月から本格運行が始まっているが、より効率的で、利用しやすいバス路線を考えていくことが重要であり、新路線の検討も含め向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	すでに本格運行が始まっており、利用者も増加していることから廃止は難しい。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	津山・鏡野間の公共交通については住民・事業者・自治体が協働して取り組むことで、利用の促進を図ることができる。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	負担金の支払い業務のみであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	負担金の支払い業務のみであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	全ての住民に関係することであり、公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 利用者の利便性の向上と利用人数の増加を津山市とも協議しながら進めていく必要がある。また、津山・鏡野間の新路線の検討を行う。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△		低下	△	△	△
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			△																					
	低下	△	△	△																					
本格運行が始まったばかりであり、課題を見つけることが課題である。																									